

[others]

## 「総会報告 2007 年京都総会を終えて」

64 回生 遠山 景子

2007 年総会京都は平成 19 年 5 月 26 日(土)京都ホテルオークラ(15 時～19 時)にて、150 名の出席者のもとに開催されました。

講演会・総会に引き続き懇親会へと移り、それぞれに盛会裡に終了しました。ここに行事ごとの報告を掲載し総会報告とします。

〔講演会報告〕

講演会は山田勝彦副会長(31 回生)の司会のもと長谷川実氏(28 回生)、岡本篤彦氏(40 回生)の順に行われた。

まず、長谷川氏は「生きる楽しみ - 絵画・書道等」として 22 枚のスライドに絵画や書の作品を映画のように流しながら学生時代を振り返った。さらに最近までの自身の絵画・書道・川柳などの作品への思い「絵には上手い下手はなく感じたままを表現し、良し悪しは観るひとの感じかたである。字は個性であり、正・速・美である。」と語られた。とても親しみやすい絵や字がスクリーンいっぱい広がった。

次に、岡本氏は「大型放射光実験施設の概要および医学・産業分野などへの応用」と題して、「大型放射光実験施設(SPring-8)の概要、放射光のエネルギー特性の比較」と「実用化研究(X線を用いて何を測定するのか)について、医学分野(乳がん診断への可能性)、産業分野(排気ガス触媒機能発現機構の解明と開発)、環境分野(植物の砒素分布と化学状態を解明)の三つの分野への応用」について話された。

〔総会報告〕

総会は、笠井俊文理事(49 回生)の司会のもと講演会に引き続き開催された。

初めにこの 2 年間に逝去された 40 名近くの物故者に対し黙祷をささげた。

厚東正之副会長(35 回生)の挨拶、名誉会長の高橋隆学長の挨拶に引き続き、功労者表彰が行われ、木村千明氏(東海支部:39 回生)は長年に亘り東海支部育成に尽力された功績により、功労賞と記念品が贈られた。また 2005 年総会松山を主宰した矢野雅昭氏(四国支部:45 回生)に感謝状と記念品が贈られた。

議長に田中庸二氏(大阪支部:44 回生)を選出し総会議事に入った。

厚東副会長より、平成 17・18 年度の事業報告および決算報告が行われた。続いて土田信明監事(35 回生)より会計監査報告があり、それぞれ満場一致で承認された。

続いて厚東副会長より平成 19・20 年度の事業計画および予算報告が行われた。

事業計画については京都医療科学大学の名称にふさわしい学友会活動の事業を展開すると共に、4 年後の大学卒業生をあたたく迎え入れることができるように成長したいと統括が述べられた。

- 1) 全国 18 支部が年 1 回の定期総会を開催し会員相互の親睦を積極的にはかって頂きたい。出席要請のあった支部には会長若しくは理事ができる限り出席する努力を払いたい。
- 2) 年 4 回発行の学友だよりの誌面を B5 版から A4 版へ大きいサイズに変更する予定である。
- 3) 大学の好意により新設された「学友会事務室」を有効に活用するための什器・備品の整備を行う。

また、各委員会活動については、例年通りの事業を予定しているが、より充実したものにしたいと提案があった。

事業計画・予算についての質疑に移ったが、特に異議もなく決議に移り満場一致で承認された。

続いて京都医療科学大学の名称変更に伴い、会則の一部改正(主に京都医療技術短期大学が

ら京都医療科学大学への名称変更)が報告された。そして後藤正季氏(34 回生)について平成7年から6年間に亘り会務を主宰、四年制大学昇格活動や学園創設70周年記念事業達成などの功績を称え、名誉会員推戴が提案され、それぞれ満場一致で承認された。

次期総会開催地として東海支部(場所:高山市)から立候補の報告があり、満場一致で承認された。

次期選挙管理委員については庶務担当の遠山景子理事(64 回生)より、河田実氏(京都支部:51 回生)、吉村和彦氏(滋賀支部:55 回生)、山村憲一郎氏(大阪支部:61 回生)の三氏の推薦があったとの報告があり満場一致で承認された。

総会議事は滞りなくすべて終了し田中議長の降壇の後、笠井理事の司会に交代し、厚東副会長より後藤正季氏に名誉会員の推戴状を贈呈した。

新役員選出に移り、西田俊彦選挙管理委員長(58 回生)から会長候補に埜藤真純氏(43 回生)、監事候補に土田信明氏(35 回生)、野原弘基氏(37 回生)の推薦届出があったと報告され、それぞれの候補者とも満場一致で平成19・20年度の役員として信任された。埜藤新会長、土田、野原両監事の挨拶があり2009年の高山市での再会を楽しみに閉会した。

(懇親会報告)

司会宮本要一理事(49 回生)、森本美穂理事(62 回生)の司会により京都での総会懇親会の幕が上がった。出席会員126名、招待者8名、教職員7名、協賛20社(参加9名)の総勢150名の参加者を前に、山田勝彦副会長ならびに花岡正男名誉学長の挨拶、引き続いて後藤名誉会員の発声でシャンパンでの乾杯によりスタートした。

会場ではあちこちでビール・水割り・ワイン・ジュース等を片手にあつという間に歓談が始まり、中央の料理も次から次へと空腹を満たすためプレートが空となった。

宴の途中で西谷源展理事(44 回生)より京都医療科学大学へ着任された河村正教授、大野和子教授、藤枝美穂准教授、吉本朋子講師の紹介があった。続いて協賛各社の株式会社島津製作所の福田真一氏および正門千明氏、島津メディカルシステムズ株式会社の石原浩氏および森田健次郎氏、第一三共株式会社の鶴澤洋輔氏、住重試験検査株式会社の江口朋宏氏、ユニオン・メディカル株式会社の野上育夫氏、有限会社アイテックの永田輝男氏による挨拶、清恵会第二医療専門学院同窓会代表の北川隆司氏、保護者会より上藤隆次会長の挨拶が行われた。その後しばし各テーブルで拍手や歓声が響いた。

いよいよ懇親会もクライマックスとなり次期開催地である東海支部長代理の赤松勝巳氏(48 回生)による2009年高山総会へのお誘いの後、埜藤真純会長(43 回生)の万歳三唱にてお開きとなった。次回、高山での再開を約束し2007年総会懇親会は大盛況の内に幕を下ろした。その後はこの日に合わせて同窓会を企画された方々、久しぶりの旧友との再会、気の合う先輩・後輩らそれぞれ夜の京の街へと散策に行かれた。

以上

\* 通巻184号 2007年7月10日発行(H19-No.2)より